

と思ひます。

三十三番(山田 博君) 非常にけつうな各例を、ごいする、
二か以上いじめるも、何かが、ごいする、今後、嚴重
に調査して、いろいろ各例を出す場合には、提案を、ごいする、
に、と思ひます。

議長(田村匡雄君) 二かにて、質疑を終結いたしました。

おぼかりました。議長(オナナ号)おぼい、十七号に、
は、総務委員会に、付託し、詳細に、審議を、願う、ことに、
な、と思ひます。二かにて、二、三、あり、せん、

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(田村匡雄君) 二、三、あり、せん、決定、した、
に。何、委員会、の、審査報告、は、本会、期中、に、お願、い、
に、あり、

議長(田村匡雄君) 日程、オナナ、議長、オナナ、号、東京、都、市、の、
員、退、取、予、当、組合、を、組織、する、で、ない、其、団体、の、変更、お、
京、都、市、の、員、退、取、予、当、組合、規約、の、変更、に、つ、

に、使、し、ます。事務局、長、を、し、議長、の、朗、読、を、
し、

(島田議長、事務局、長、朗、読、一、省、略、)

議長(田村匡雄君) 理事、者、か、り、提案、理由、の、説明、を、
(助、役、木、村、幸、造、君、登、壇、)

助、役(木、村、幸、造、君) 議長、オナナ、号、に、つ、ま、し、
三、三、説明、を、し、あげ、た、に、思、ひ、ます。本、案、は、東京、都、の、市、
の、員、退、取、予、当、組合、を、組織、し、あり、し、で、ない、其、団体、
の、内、で、国、立、市、お、び、清、化、園、生、組合、を、この、組合、から、脱、退、し、
さ、り、に、二、か、に、か、め、る、と、し、め、け、る、ご、い、する、が、新、た、に、秋、
川、衛生、組合、の、相、対、多、摩、犯、生、組合、お、び、多、摩、西、部、清、化、組、
合、が、加、入、し、る、と、し、め、る、ご、い、する、に、な、り、ま、し、と、し、め、る、が、規約、
を、変更、する、と、し、め、る、ご、い、する、に、つ、ま、し、あげ、た、ゆ、け、る、ご、い、する、
と、関係、が、あり、し、る、ご、い、する、に、つ、ま、し、あり、し、る、ご、い、する、の、規約、
の、変更、案、に、つ、ま、し、る、ご、い、する、に、つ、ま、し、る、ご、い、する、の、規約、
お、る、ご、い、する、に、つ、ま、し、る、ご、い、する、に、つ、ま、し、る、ご、い、する、の、規約、

議十九
議十八
議十七
議十六
議十五
議十四
議十三
議十二
議十一
議十
議九
議八
議七
議六
議五
議四
議三
議二
議一

するわけをございまして、関係の地主さんには、菅原下郎さん
以下十五名が関係の地主さんでありまして、取得したと思
うありまして、面積は五千四百四十三、ハセ坪平ノ米で一万
七千九百九十七、リハ五平ノ米地目は田おちの畑も取得い
たしまして価格が七千四百三十八、一千六百六十五とござい
ます。よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

議長(田村匡雄君) 二枚より質疑を行ないます。

○九番(田村秀雄君) くだい子の報告にありまして、買上げら
面積をございまして、五千四百四十三坪というのを聞か
るのございまして、学校用地につきまして大体四千五百坪
という話を聞かれました。その差が約千坪あるのござい
ますか、その点についてはおかに平をうつ予定であるのかお
聞きました。

議長(田村常太郎君) 下の組合施行にありまして、区画整理
が予定されております。区画をございまして、坪歩を見込んで

あるわけをございまして、二割の坪歩と仮定してござい
ます。約四百坪坪位、二割五分予定したものと四百坪強
のございまして、坪歩が予定決定はいたして、おりない段階
をございまして、大体その坪歩を想像したもので
現在の面積といたわけをございまして。

(「了解」と呼ぶ者あり)

議長(田村匡雄君) 二枚にて質疑を終結いたします。

おわかりいたしました。議事十九号は集議とあり決する
に、ご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(田村匡雄君) 二枚異議なしと認めます。よろしく議事十九

九号は集議とあり決したものと。

議長(田村匡雄君) 二枚で暫時休憩いたします。

午後二時三十分 休憩

午後二時五十分 開議

議長(田村匡雄君) 休憩前に引き続き議事を開きます。

保育民間施設負担金三十一万六千六百六十円の増、五月市線横断
事業の翌年度への繰越にともなひ、横田港行場周
辺排水路整備事業補助金の残が九百二十八万四千三百
五十九円、補助金は保育民間施設分の三十四万一千四百
増をはじめ、インフルエンザ予防費負担金の増七十八万九千
円、さらに、二年度の屋内体育館建設補助金百十三万七
千円等が大きいもの、計二百二十万一千四百円の増額補正を行
い、補正後三億五千九百七千四百七十九円と存ります。財産収入の補正
増が三十一万四千円、これは返却給付積立金の利子六万三千円
と借路地等基金の利子二十四万七千四百七十九円と補正後七十四万
と存ります。諸収入は七十四万七千四百七十九円の補正増が計二千
五百九十九万二千四百七十九円と存ります。これは受託業収入と
下水道三期拡張事業のうち横田港行場周辺水道施設
整備事業に於ける配り、武蔵野地区水道管理施設工事の道路
復旧工事費が百十五万四千円、また都からくるインフルエンザ
予防接種費徴収金の残四十一万七千四百七十九円がその内訳でござい



五、此償は既決の各事業費の整理で六十一万四千円の新と存
り計億八千五十一万四千円が補正後の金額と存ります。
次に不出でございするが、お金の関係にふさぎをよぼす
頁以降にございする。議会費は補正増三十一万四千円はそのほ
とんどが人件費で、補正後千三百九十九万三千四百七十九円と
存ります。総務費は補正増五百五十九万七千四百七十九円、補正後一億二千
八千四百七十九円と存ります。補正の内訳は、大きなものは人件費で
約三百八十八万四千円、交通費全額六十一万四千円、退職金還
付金三十一万四千円の増額で他は一般行政経費でございする。
民生費は二百四十五万四千円の補正増で、補正後五千九百七
十六円と存ります。社会福祉費は人件費のほか、国保会計繰
入金百万四千円を増額し、計百五十九万五千四百七十九円と存
ります。国保会計への繰り出しは二億五千五百万四千円と存るや
うでございする。児童福祉は保育児童委託料八十三万三
千四百七十九円を増額したと存ります。その他人件費を加え九十四万
五千四百七十九円を増額したと存ります。合計二百四十五万四千

の補正増とほるわけでございます。つぎの衛生費の補正増
四十八万八千五百六十円は全額人件費の補正後六千六百一十九万八千五百
六十円です。農林水産業費の四十八万七千七百六十円の増額補正を
行っており、人件費のほか農業共済組合補助を二
千五百五十円の増額とされており、商工費は異動等に
人件費の補正のほか、商工労務改善事業費の補助を四
千四百一十九円の補正を行ない、補正後八
百五十九万二千四百一十九円です。つぎの土木費は百六十一万一
千四百一十九円の増額補正で、補正後一億四千八百六十九万八千四百一十九
円とほるわけでございます。その下は、一般土木関係の
人件費のほか、南地区仮設橋買掛金三十九万八千四百一十九円、羽根地区
の境界道路舗装買掛金二十二万八千四百一十九円、水道の受託事業費
ある武蔵野地区水道管埋設水道復旧工事が百五十九万
五千四百一十九円とほる増額、計三百八十四万八千四百一十九円、都市計画
費と同じく人件費のほか下水道全体計画設計委託料二百
九十三万八千四百一十九円、福生駅東に用発調査委託料百八十九円、

中央幹線設計委託料百四十九万八千四百一十九円等の増額、さらに横
田墓地周辺排水路事業の四十九万八千四百一十九円、市議会横断設計委託料が翌年
度送りとしたための補正、千四百一十九万八千四百一十九円等を計上した結果四
百六十九万五千四百一十九円の増額とほります。二次に事業経費費にお
ける人件費等百四十六万八千四百一十九円とほるのと、その補正の額とほ
めてある千四百一十九万八千四百一十九円、消防費は補正増の三十二万八千四百
一十九円とほります。つぎの教育費の補正は、補正後千九百三十九
円とほります。総額七十九万二千四百一十九円、補正後三億五千三百三十九万五千四百一十九円とほ
ります。これは、設計委託料とほると、人件費とほると、本
年度から千九百三十九円とほる、また、校舎の整
備工事の事業費百五十九万八千四百一十九円とほる、計上したものに
つぎの通り、予備費は三十七万四千四百一十九円の増額で補正後三百
三十九万八千四百一十九円とほります。以上を合算すると、八百八十四万二
千四百一十九円の増額補正を行ない、補正後七億七千九百四十九万二
千四百一十九円とほります。おろしくご審議のほどを願

議長(田村匡雄君) 二枚子リ質疑を行行し了。

三上番(塩野鉄之助君)
オ入にア、オ尋ねたーた、と思ひます。

昨年の定例会の会期中におきまして東京都の方から振
 興交付金千六百五十万が決定しソウ報告があらけりとも、
 本年はソウソウニとあるか、此も交付税の現況計
 上されてあるよりふえるか、三月三十一日までにソウソウ
 見通しがあるか、お願いいたします。

○此長(仁川常太郎君)所答之申しあり。三月半には振

船交礼金決定を要する予定でございす。

三上番(塩野鉄之助) その顔は大体わかるし、うか、

少長（江川常太郎君）
 願にフシは主た不明でゴザイ
 ますけれども、

飛船ニハ余念に限る他ナリ福生ハナクミルソリヲコトマシテ
イナリ。

三番（塩野鉄之助君）現況ナリ余寄に入ろ、最終の決算に
おき子とばかり余剰金と存せんとし、こゝにたすね、

所長（石川常下郎君）一の位に之るかゆかり子せんか、
いくらか
に之るかと思ひ子下。

ニ工番(鹽野鉄之助君)
 々々には格段のニ努力を願ひます。

几番（下野行天君）
 国保会員の仲でござい子下りか、阪軍の九

月、また今年の二月で計四百万円の一般会計からの繰り入れを補っている状態であり、これに及びて国保会計はどのような状況にあり、またあるのか、また国保会計に及びては現在一般会計よりいかに繰り入れをし、受け入れ、その運営等もやりくりはいかたうだ、いかに受け入れ、またその点に及びてお願いいたします。

山長 仁川常下郎后 可容之申し可なり。 国保会計所因

難を極めたり。かたり禪り出せりたりあり。

し、
限度をいかに考へており乎、
か、
他の財をみず

①と予算規模を比較した場合に5割以下に回す

あるところから示す。
予算規模から見た子々も

正余計に出るにてもあるわけを、こゝに示す。

非常に受診率が高くほり子しそやういふくにはるめけ
るごい子しか、やうあチリエおるめけにも参りせんし、
下支苦勞とそあるんか、榮り出レ金とそはカク
限度でほいしかと考えてありす。

○九番 下野行天君 やうい子しと国保会計につては都合あるいは
国からの今後の援助とそものほ現状以上には求められはい
のまうか

○市長 石川常下郎君 国の方は改正をまちすといくらも国保会
計にふする根本的の方があるのまほほかろうかと
思ひす。変更があるのまほほかろうかと考えてあり
す。

○議長 田村匡雄君 ほかには質疑はごいせんか、
(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長 田村匡雄君 二に於て質疑を終結いたしました。
おほかりにします。議事オ二十号は、総務、建設、厚
生の各委員会に分割付託し詳細に審議を願うことはい

たー下いと思ひすか二にに異議ありせんか、

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長 田村匡雄君 二に異議なしと認めさうき決定いたしす。

ほか各委員会の審査報告は本会期中にお願ひいたします。

○議長 田村匡雄君 日程オ十九 議事オ二十一号昭和四十二年
度福岡健康保険特別会計補正予算を議題に供しす。
事務局より議事の朗読をいたさせす。

(青山謙事係長朗読) 省略

○議長 田村匡雄君 理事者より提案理由の説明を求めす。

(助役 森田幸造君登壇)

○助役 森田幸造君 二指名をいたさす。議事オ二十一号昭和
四十二年度福岡健康保険特別会計補正予算につて
示す説明申あげたいと思ひす。

五がオ入るごいすか、予算書の二頁をお開きしたた
きたいと思ひす。保険料は前定の増か七十三万五千円見込
めるものでありす。計三千八百八十六万五千円とありす。

